

2018年12月刊行予定

中央公論美術出版

【全2巻】

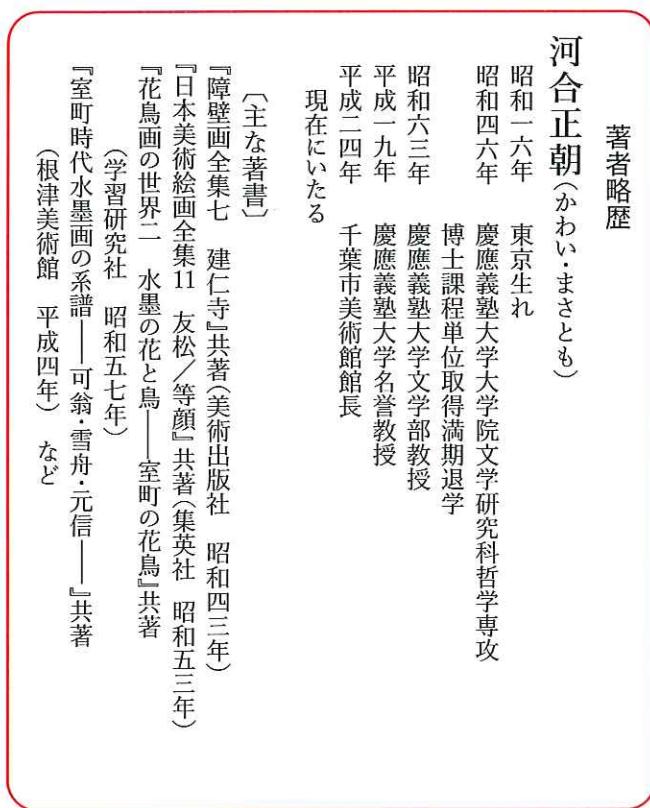
河合正朝絵画史論集

上巻

本体価格 30,000円+税

B5判上製函入 本文500頁 カラ一口絵8頁 挿図380点
ISBN 978-4-8055-0867-1 C3071

山水屏風 部分 神護寺藏



著者略歴

河合正朝（かわい・まさとも）

昭和一六年

昭和四六年

昭和六三年

昭和一九年

平成二四年

現在にいたる

〔主な著書〕

『障壁画全集七』建仁寺共著（美術出版社 昭和四三年）

『日本美術絵画全集11 友松／等顔』共著（集英社 昭和五三年）

『花鳥画の世界』水墨の花と鳥——室町の花鳥』共著

『室町時代水墨画の系譜——可翁・雪舟・元信——』共著
(根津美術館 平成四年)など

わたしの美術史研究は、桃山時代の絵画に取り組むことに始まり、狩野永徳から狩野元信へ、元信周辺を含む初期狩野派、またその延長線上にある、いわゆる関東水墨画へと、研究対象を広げ、さらに時代を遡るかたちで、足利将軍家の絵師であった三阿弥（阿弥派）や「お留筆」の御用絵師とされる小栗宗湛に対する関心へとすすみ、小栗宗湛と狩野正信、三阿弥と狩野派の関係について考えるところとなつた。そして、雪舟等楊と拙宗等揚に関するいわゆる「同人説」の問題に逢着することとなるのである。

それは、日本絵画史における水墨画受容のあとを探り、尋ねあうことだつたと言つてよいかもしない。すなわち、中国から齋された水墨画を日本の画家がどのように理解し、それを受け入れたのかの問題であった。〔中略〕等伯や宗達の絵画には、湿つた大気やそこに差し込む光の表現が認められる。それとともに、等伯の「松林図」に、雲霧に煙る松林の奥に松の緑や白く雪を頂く山を、宗達の「蓮池水禽図」には、朝靄の中に浮かぶ蓮の花にほんのりと紅色のあるのを、また、友松の「松に孔雀図」では、松葉の緑や孔雀の尾羽に華麗なる色彩を、というように、水墨の奥に色彩の暗示のあることをわたしは常に見ていた。

「序にかえて」より

目 次

序にかえて

海北友松と長谷川等伯

室町時代の絵画

- 一 室町時代漢画の花鳥画
- 二 室町時代大和絵の花鳥画
- 三 室町時代の絵画における花鳥画の変容
—中国画の受容とやまと絵花鳥画—
- 四 室町水墨画の系譜 —その受容と展開—

〔資料〕

- 一 仏日庵公物目録(抄)
- 二 太白真玄作「溪陰小築図」序
- 三 雪舟等楊筆「破墨山水図」叙
- 四 藤涼軒日録(抄)
- 五 御物御画目録

- 五 小栗宗湛から狩野正信へ
- 六 鎌倉地方と水墨画
- 七 室町水墨画と朝鮮画
- 八 余技としての武人画家
- 九 「拙宗」・「等揚」、「雪舟等楊」
—室町時代水墨画研究の再検討にあたって—

十一 芸阿弥筆 觀瀑図

桃山絵画と狩野派

十二 桃山の障壁画

十三 妙法院大玄関「松図」障壁画について

十四 三井寺・旧日光院客殿の障壁画について

十五 雲谷等顔について

十六 狩野山楽筆 牧馬図屏風

雲谷派耕作図屏風

河合正朝絵画史論集

下巻

【全2巻】
河合正朝絵画史論集

上巻

本体価格30,000円+税

二〇一九年秋刊行予定

本体価格30,000円+税
【ご予約承ります】

【第30回国華賞特別賞受賞】

日本絵画史論叢 一紺丹緑紫抄

有賀祥隆 著

本体価格30,000円+税

B5判上製函入 本文478頁 口絵16頁 挿図700点
2017年12月刊

ISBN 978-4-8055-0800-8 C3071

山根有三著作集 【全7巻】

1994年6月～1998年6月刊

〔第1巻〕宗達研究一	本体価格8,000円+税	380頁	〔第5巻〕障壁画研究	本体価格9,500円+税	386頁
〔第2巻〕宗達研究二	本体価格9,500円+税	354頁	〔第6巻〕桃山絵画研究	本体価格9,500円+税	540頁
〔第3巻〕光琳研究一	本体価格8,000円+税	384頁	〔第7巻〕花道史研究	本体価格8,600円+税	428頁
〔第4巻〕光琳研究二	本体価格9,500円+税	404頁			

*品切・在庫僅少巻あり

取り扱いは

中央公論美術出版

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-10-1

IVYビル6F

Tel: 03-5577-4797 Fax: 03-5577-4798